

栗田工業株式会社
平成16年3月期決算説明会

平成16年5月14日



<目次>

平成15年度決算報告	1
平成15年度トピックス	2
平成15年度業績ハイライト	3
平成15年度実績:受注高	4
平成15年度実績:売上高	5
利益分析(1)	6
利益分析(2)	7
財政状態	8
キャッシュ・フロー	9
平成15年度業績総括	10
平成16年度計画	11
平成16年度計画の前提条件	12
平成16年度計画:総括	13
平成16年度計画のポイント(1)	14
平成16年度計画のポイント(2)	15
平成16年度計画のポイント(3)	16
平成16年度計画のポイント(4)	17
平成16年度計画:営業利益	18
平成16年度計画:設備投資ほか	19
PA-5計画達成に向けて	20
中期経営計画「PA-5」達成に向けた取り組み	21
中期経営計画「PA-5」:売上高	22
中期経営計画「PA-5」:営業利益、営業利益率	23

平成15年度決算報告

1

平成15年度トピックス

【新しいビジネスモデルによる事業領域の拡大】

- ソリューションビジネス強化策として、エコ事業部の新設
- 国内における超純水供給事業の立ち上げ
- クリタ分析センター(株)とクリテックサービス(株)の設立

【海外事業の拡大】

- ベルギーのPITCO社から石油プロセス薬品事業の買収
- 中国薬品事業拡大を目指し、中国プロジェクトチームを新設
- 中国における水処理装置生産拠点設立と台湾営業所開設の決定

【新規事業への参入】

- 燃料電池に関わる国家プロジェクトへの参加

2

平成15年度業績ハイライト

(億円)

	H14年度 実績	H15年度 計画	H15年度 実績	計画比		前期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	1,284	1,498	1,497	-1	-0.0%	+213	+16.6%
売上高	1,416	1,475	1,468	-7	-0.5%	+52	+3.7%
営業利益	123	130	135	+5	+3.8%	+12	+9.6%
経常利益	124	133	139	+6	+4.8%	+15	+12.4%
当期純利益	55	77	84	+7	+9.7%	+30	+54.2%

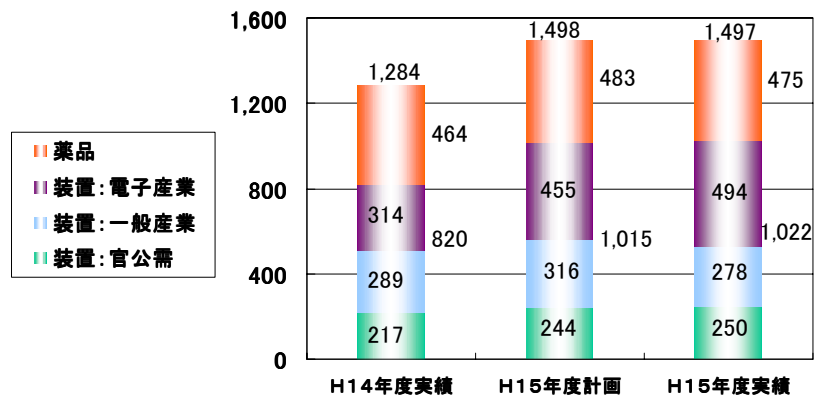
- 電子産業向け装置の伸びが他の落ち込みをカバーし、受注・売上はほぼ想定どおり
- 売上総利益率が計画を上回り、販管費が減少したため、営業利益は計画を上回った
- 投資有価証券売却益等の計上により当期純利益は計画を上回った

3

平成15年度実績：受注高

- 電子産業向け装置は、国内設備投資の活況から計画を上回る増加
- 一般産業向け装置は、国内設備投資低迷から前年度比減少
- 官公需向けは、汚泥再生処理センターの受注が堅調

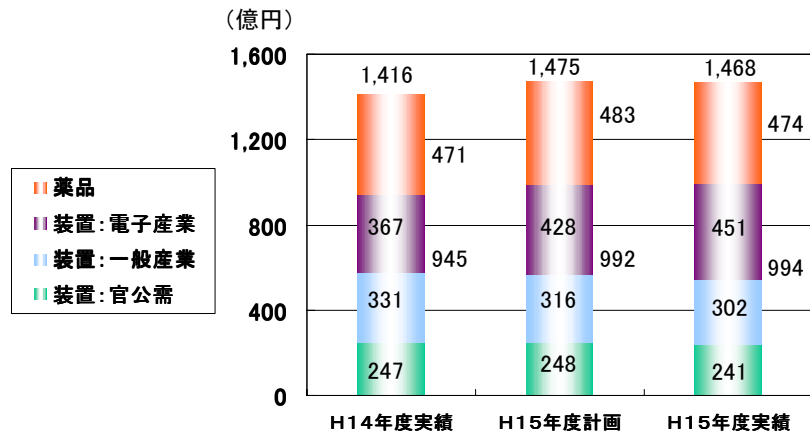
(億円)



4

平成15年度実績:売上高

- 薬品事業は、契約型や焼却炉向けが伸長したが、計画には未達
- 電子産業向け装置が国内で大幅に伸長し、その他の落ち込みをカバー

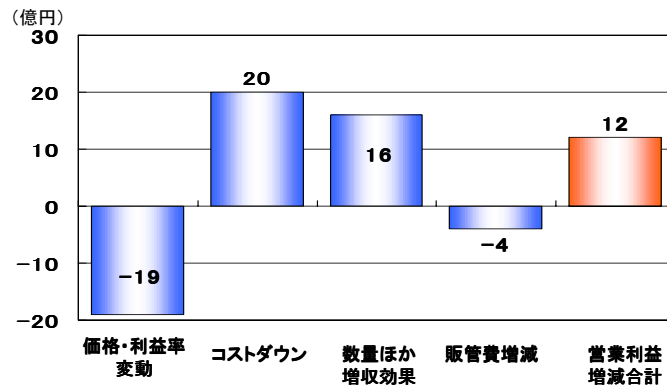


5

利益分析(1)

(億円)

	H14年度実績	H15年度実績	増減額	増減率
営業利益	123	135	+12	+9.6%



6

利益分析(2)

(億円)

	H14年度 実績	H15年度 実績	増減額	増減率
経常利益	124	139	+15	+12.4%

【営業外収支4.5億円の主な内訳】

- 収益: 受取利息・配当金4億円、持分法による投資利益2億円
- 費用: 為替差損1.5億円

(億円)

	H14年度 実績	H15年度 実績	増減額	増減率
当期純利益	55	84	+30	+54.2%

【特別損益10億円の主な内訳】

- 利益: 投資有価証券売却益等15億円
 - 損失: 建物等固定資産評価損5億円
- * H14年度特別損失の主な内訳: 退職給付会計基準変更時差異償却額12億円
投資有価証券評価損8億円

7

財政状態

(億円)

	H14年度末	H15年度末	増減額
流動資産	1,072	1,189	+117
固定資産	665	647	-18
総資産	1,737	1,836	+99
負債	518	539	+21
株主資本	1,210	1,287	+77

- 売上の期末集中による売上債権の増加70億円(流動資産増加要因)
- 投資有価証券の有価証券への振替67億円(固定資産減少要因)と
有価証券の償還(現預金増加要因)
- 超純水供給事業用資産の増加(固定資産増加要因)

8

キャッシュ・フロー

(億円)

	H14年度実績	H15年度実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	104	56	-48
投資活動によるキャッシュ・フロー	-70	-1	+69
財務活動によるキャッシュ・フロー	-63	-17	+46
現金及び現金同等物の増減額	-29	36	+65
現金及び現金同等物の期首残高	330	315	-15
現金及び現金同等物の期末残高	315	351	+36

- 利益増加の一方、売上債権と法人税支払額の増加により、営業活動によるCFは減少
- 超純水供給事業への投資増加の一方、有価証券と投資有価証券の取得・売却の収支が収入超過となり、投資活動による支出が減少
- H14年度にあった自己株式の取得による支出が、H15年度にはなかったため、財務活動による支出が減少

9

平成15年度業績総括

- 薬品事業は、厳しい市場環境下、低い伸びにとどまった一方で、高収益化や焼却炉向けで実績を上げ、ソリューション強化も推進
- 電子産業向け装置は、顧客の積極的な設備投資や高い稼働率を背景に、装置・メンテナンス・精密洗浄ともに伸長
- 一般産業向け装置は、低調な国内設備投資から低迷した一方、エコ事業部が顧客の課題解決提案を推進
- 官公需向け装置における着実な受注積み上げ
- 海外展開の施策を講じ、業績寄与は次年度以降

10

平成16年度計画

11

平成16年度計画の前提条件

市場環境見通し

【水処理薬品事業】

- 焼却炉向け薬品への需要が引き続き堅調
- 日系企業の中国向け投資が継続
- 国内顧客工場の価格低下圧力や厳しい競合状況が継続

【水処理装置事業】

- 国内電子産業では、半導体、FPDほか全般に堅調な設備投資が継続
- 韓国、台湾を中心に液晶設備増強投資が継続、中国における半導体・電子部品の投資増加
- 国内一般産業では、能力増強、運転経費削減、環境負荷低減ニーズが高まる
- 土壌浄化分野では操業中工場の原位置での浄化ニーズが加速
- 官公需市場の事業予算縮小

12

平成16年度計画:総括

(億円)

	H15年度 実績	H16年度 計画	増減額	増減率
受注高	1,497	1,680	+183	+12.2%
売上高	1,468	1,618	+150	+10.2%
営業利益	135	171	+36	+26.8%
経常利益	139	174	+35	+24.8%
当期純利益	84	100	+16	+18.9%

【重点施策】

- 国内外における“攻め”の事業展開を加速
- 新ビジネスモデルの採算性向上と新製品開発および新事業の立ち上げ強化
- コスト低減を中心とした収益力の強化

13

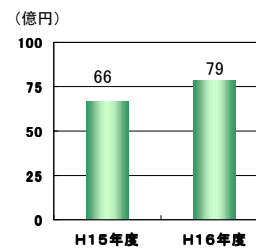
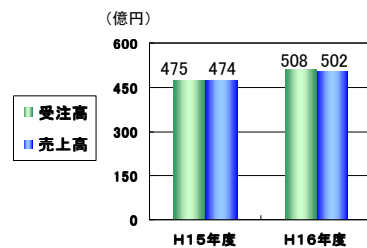
平成16年度計画のポイント(1)

<水処理薬品事業>

- 契約型ビジネスの拡大、焼却炉向け薬品と紙パルプ向けプロセス薬品の伸長
- グループ販売網の強化
- 中国・欧州市場における伸長
- 高収益商品への置き換えによる収益性向上

受注高・売上高

営業利益

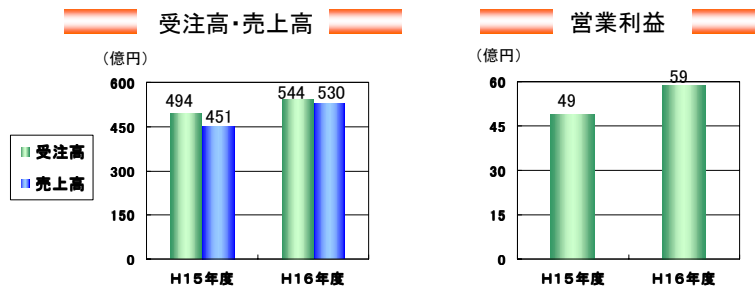


14

平成16年度計画のポイント(2)

<水処理装置事業：電子産業向け>

- 国内需要はFPDを中心に堅調を維持
- アジアにおける堅調なLCD向け受注継続
- 超純水供給事業の伸長による収益の安定確保
- 精密洗浄事業の伸長

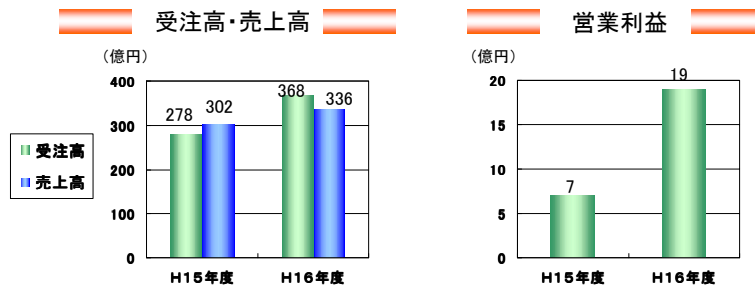


15

平成16年度計画のポイント(3)

<水処理装置事業：一般産業向け>

- エコ事業部による顧客のコスト削減・環境負荷低減提案の実績貢献
- 電力向けの受注回復、食品・医薬分野向けの受注増
- 土壌浄化における操業中の工場での原位置浄化案件獲得による受注拡大

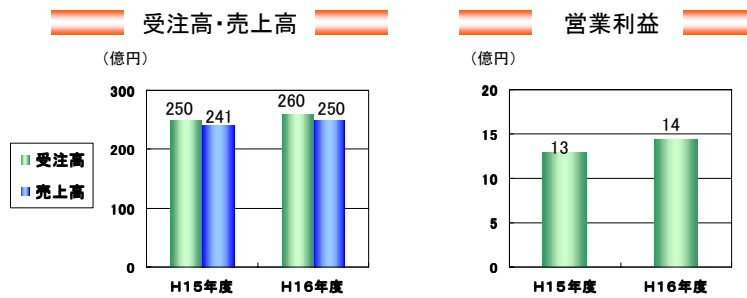


16

平成16年度計画のポイント(4)

<水処理装置事業:官公需向け>

- 汚泥再生処理センターの改造・更新案件の確保
- オゾンによる汚泥減量化装置の受注確保
- 膜利用による高度浄水処理案件の獲得

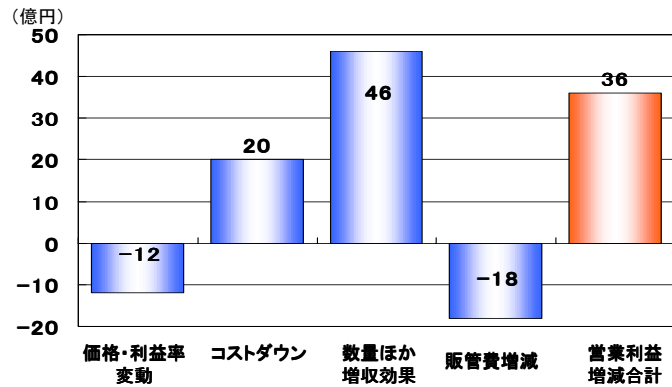


17

平成16年度計画:営業利益

(億円)

	H15年度 実績	H16年度 計画	増減額	増減率
営業利益	135	171	+36	+26.8%



18

平成16年度計画:設備投資ほか

(億円)

	H15年度実績	H16年度計画	増減額
設備投資	83	42	-41
減価償却	33	36	+3
研究開発費	43	44	+1

- 設備投資に含まれる超純水供給事業への投資額は、H15年度までの累計で約100億円
- 設備投資の増加に伴い減価償却費は漸増
- 研究開発費は、効率化を推進

19

PA-5計画の達成に向けて

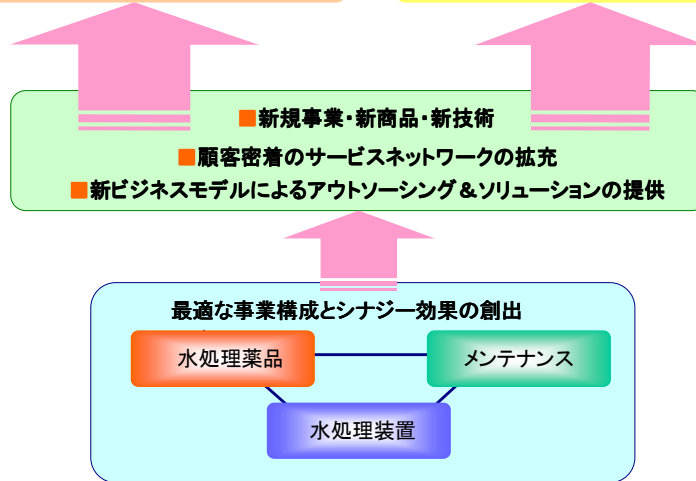


20

中期経営計画「PA-5」達成に向けた取り組み

■ 国内: 事業領域拡大と市場支配力強化

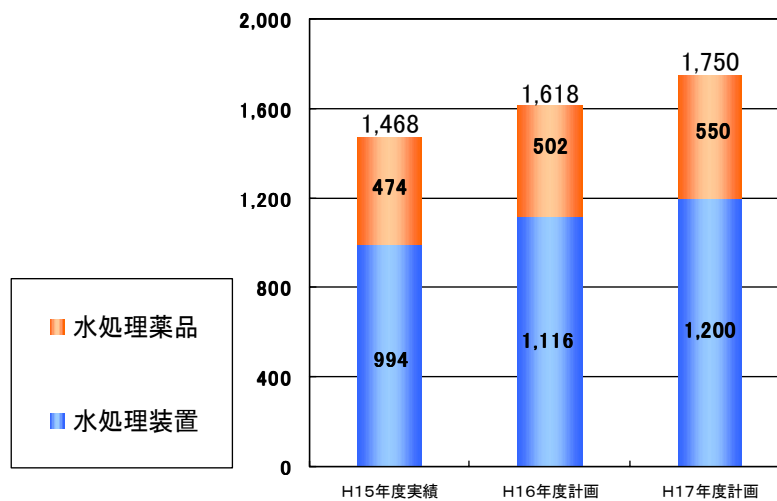
■ 海外: 事業領域とシェアの拡大



21

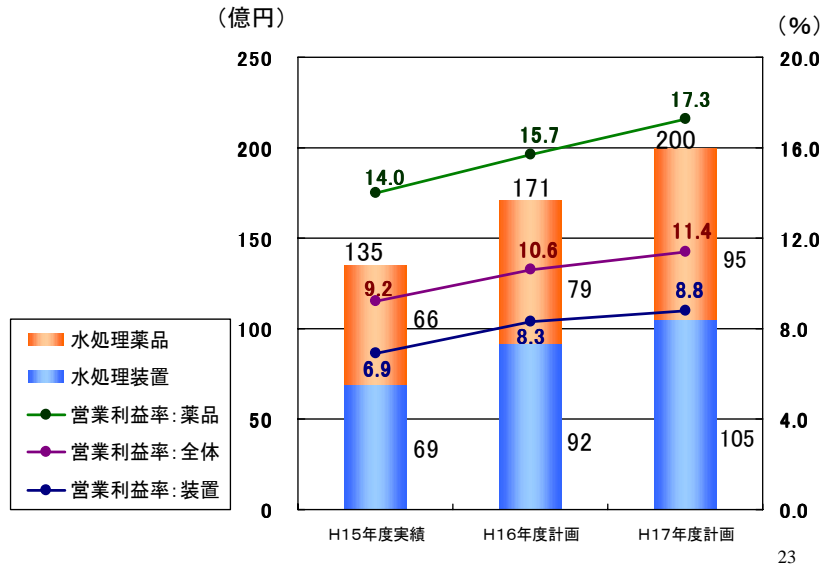
中期経営計画「PA-5」: 売上高

(億円)



22

中期経営計画「PA-5」: 営業利益、営業利益率



栗田工業株式会社

ホームページ<<http://kurita.web-ir.jp/>>
 メール<ir@kurita.co.jp>

将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

